

2023年度第65回通常総会開催 総会において全議案可決される 2023年度総会では再任17名、新任監事1名の役員を選出

福岡県労福協は、5月26日（金）15時より福岡市博多区の「オリエンタルホテル福岡博多ステーション」において、2023年度第65回通常総会を開催しました。

第65回通常総会は、佐田正二副理事長の開会挨拶のあと、12会員団体（議決権行使者）の出席を確認し、総会成立を宣言後、総会議長に豊福明子氏（連合福岡）を選出しました。

理事会を代表して藤田桂三理事長より、本日の総会は昨年に続き集合型開催となりました。労福協運動は、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」という理念のもと、中央労福協は安心して働きくらせる社会を目指して2030年ビジョンを策定しました。福岡県労福協として昨年12月に役員合同研修会において改めて2030年ビジョンについて学習を深めました。

長引くコロナ禍は、社会の脆弱性を浮き彫りにし、国民生活の様相を一変させています。加えての急激な物価高も相まって、貧困や格差が拡がり社会の分断や持続性の危機が深刻化するなど将来不安の状況が続いている。今ほど、公助の重要性はもとより共助の大切さ、労働者自主福祉活動の意義と役割が高まっているときはありません。労福協としてあらためて働く仲間や生活者、地域に寄り添いながら活動の原点である、人と人との繋がりを大切にし、思いやり、支えあい、助け合う組織として積極的に活動を展開していきます。

労福協運動として人と人のつながりや思いやり・たすけあいといった「福祉はひとつ」の理念のもとで「労働者自主福祉活動」を推進するとともに、収束の見えないロシアによるウクライナへの軍事進攻、北朝鮮の相次ぐミサイル発射、ミャンマー軍事政権による市民の弾圧など、今この時も世界の平和が脅かされています。環境問題、自然災害が多発している中で、平和と人権問題など取り組みを強化し、私達の暮らし、生活を守る活動を進めていきたいと挨拶しました。

来賓挨拶では、厚生労働省福岡労働局の安達栄局長、福岡県福祉労働部労働局の成松宏局長、福岡市経済観光文化局総務・中小企業部経営支援課坂本明久課長、北九州市産業経済局雇用政策課中川茂俊課長、福岡県退職者連合檀勝樹会長の5名の方から祝辞と激励のご挨拶をいただきました。また、祝電・メッセージ披露では、中央労福協はじめ9団体から激励のメッセージの披露がありました。



理事長挨拶 藤田理事長



総会来賓のみなさん

議案審議では、藤吉眞二専務理事から第1号議案2022年度事業報告及び決算報告、若松直美監事より2022年度監査報告、第2号議案2023年度事業計画(案)及び収支予算(案)、第3号議案2023年度役員選出の件について提案がありました。役員選出では、石本匡男監事が退任され、後任に松本竹生監事が選任されました。

総会議長は、提出議案に対する質問・意見を議場に諮ったところ、全ての提出議案が原案通り満場一致で承認・可決されました。

役員選出が承認されたことを受けて休会に入り、2023年度理事会三役を互選する第3回理事会が開催されました。総会を開会し、藤田理事長より理事会三役互選について報告があり、全ての議案の審議が終了しました。

閉会は、西村芳樹副理事長より挨拶があり、16時51分に第65回通常総会が終了しました。

＝2023年度理事会役員＝

役職	氏名	推薦・所属団体	再・新
理事長	藤田 桂三	連合福岡	再任
副理事長	西村 芳樹	九州労働金庫福岡県本部	再任
副理事長	佐田 正二	こくみん共済 coop 福岡推進本部	再任
専務理事	藤吉 真二	連合福岡 (JAM九州・山口)	再任
理事	重信 和己	連合福岡	再任
理事	神尾 浩二	九州労働金庫福岡県本部	再任
理事	寺下 博康	こくみん共済 coop 福岡推進本部	再任
理事	堤 新吾	福岡県生活協同組合連合会	再任
理事	清田 博巳	北九州総合労働会館	再任
理事	中山 啓一	筑紫・朝倉地域労働者福祉協議会	再任
理事	遠藤 祐幸	北九州地域労働者福祉協議会	再任
理事	本田 賢治	南筑後地域労働者福祉協議会	再任
理事	金光 千春	遠賀川地域労働者福祉協議会	再任
理事	樋口 孝司	北筑後地域労働者福祉協議会	再任
理事	平田貢一郎	福岡地域労働者福祉推進協議会	再任
理事	原田登喜雄	京築・田川地域労働者福祉協議会	再任
監事	若松 直美	連合福岡 (自治労福岡県本部)	再任
監事	松本 竹生	九州労働金庫福岡県本部	新任



総会議長 豊福明子 氏



開会挨拶 佐田副理事長



総会参加者



藤吉専務理事



若松監事



閉会挨拶 西村副理事長